



TOHOKU UNIVERSITY

# 磐井の江戸時代を

公開シンポジウム

## ほりおこす

一関市大東町・金家文書の世界

一関市大東町の金秀弥家は古代以来の系譜を持つ旧家で、江戸時代には磐井郡内の広域行政を担当する大肝入を務めるなど、地域の発展に深く関わってきました。金家には数万点にも及ぶ古文書が残されており、現在その調査が進められています。今回のシンポジウムでは、金家文書から明らかになった江戸時代の磐井の新たな歴史をわかりやすくお伝えし、郷土の歴史について皆さんと共に考えていきたいと思います。

2015年

申込不要・入場無料

6月20日(土) 14:00~16:30 [開場 13:30]

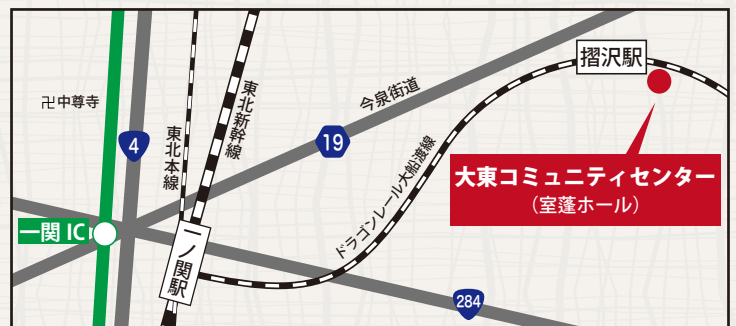
会場 大東コミュニティセンター 室蓬ホール (岩手県一関市摺沢字街道下 25-3 / JR 摺沢駅下車すぐ)

個別報告 ※報告会終了後、意見交換

🔔 「金家文書との出会い ~史料保全活動の経緯~」 佐藤 大介 (東北大学災害科学国際研究所准教授)

🔔 「山論史料から見える江戸時代の東山 ~境塚・山論絵図・草飼~」 高橋 美貴 (東京農工大学大学院農学府准教授)

🔔 「芦東山の弟子金孝蔵」 張 基善 (芦東山記念館学芸調査員)



[アクセス] ○東北自動車道一関ICより車で40分  
○JR一関駅よりドラゴンレール大船渡線へ乗換(約40分)、摺沢駅下車すぐ

- 主催/東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門 | NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク
- 共催/一関市教育委員会 ●後援/興田史談会 | 大東郷土史研究協議会
- お問い合わせ/東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門 [ホームページ: <http://uehiro-tohoku.net/>]  
電話: 022-795-3140 メール: yoichi.takahashi.e1@tohoku.ac.jp